



スポーツで交流深める

パプアニューギニアと友好会設立



設立総会を終えて

この友好会は町田市内の有志が呼びかけて結成したもので、発起人は(株)鈴木瓦店を運営する志村容一氏、志村氏が所属している東京町田クレインライオンズでは、同国に対し小学校の建設や文房具の提供など長年

にわたり支援し続けている。志村氏もこのプロジェクト立ち上げから参加し、その後も毎年、同国を訪れて交流を深めている。

友好会の構想は2年ほど前から。同国の学生らに技術を学んでもらおうと日本

に招き職業体験

を実施。学生らは日本で学べることを大変喜び、同国からも引き続き受け入れ要請もあり翌年も計画したが、就労ビザなどの関係で受け入れできなかつた。そこで、スポーツを通じて交流できないかと今年2月に現地で開催

された。上座2人は4月

スポーツを通じて日本とパプアニューギニアとの交流を深めようと10月27日、日本パプアニューギニアスポーツ友好会の設立総会がベス・トゥエスタンレンブランドホテル東京町田で行われた。

に町田市内で行われた武相マラソンに出場した。

「素晴らしい成績を残せたわけではないけど、日本の文化や生活をとても楽しんでくれた。こういった交流を続けていきたい」と思い、友好会設立を呼び掛けましたと話す。

設立総会にはパプアニューギニア駐日大使のガリリエル・ドゥサバ全権大使や町田商工会議所の深澤勝会頭、町田市観光コンベンシ

入選作をカフェ

鶴川シヨール



には10万部以上を販売している『鶴川シヨール』コンテア映会が和歌山県鶴川1市ツトで開

学院創立40周年記念講座 千支・酉を先取

先着40人・受講

基本はあつても、正解がないのがアートの面白さ。自分の感性がそのまま作品を彩るスパイスになります。和紙とぎり絵は、色づかいやバランス感覚を身に付

けられる。もつながら、的。創立ハクビのから、たつと今回千支「で部屋んだ賀状をよ。

見守って居住を支援 住み慣れた土地で暮らすために

悠々会の「あんしんハウス」

長年住み慣れた土地を離れ、自ら新しいコミュニティに参加することは容易ではない。高齢者などの孤立を防ぐためにも住み慣

た土地での住環境の整備や支援が求められている。8月から施行されている社会福祉法人悠々会(陶山慎治理事長)の見守り付き賃貸

住宅事業「あんしんハウス」は、そんな事案に対し手を差し伸べる。

地域と入居者、住民同士の互助の仕組みを醸成する同事業では、高齢や離婚など様々な理由で賃貸契約や更新が難しくなった人の代わりに悠々会が不動産物件

家賃で貸し出す。すべての部屋に24時間見守りシステムや自動消火器が備えられ、買い物や通院などのお出かけ支援も行い、住む人をサポートしていく。また、月1回の無料のランチ会の実施や、提携クリニック、提携商店を紹介するなど「社会と繋げる役割」も。

陶山理事長は「一人暮らしの高齢者や生活困窮世帯だけでなく、見守りが必要なご家族にも安心してご利用頂ける事業です。また空き部屋で困る建物オーナーの橋渡しにもなり、地域活性化にも役立つと考えています」と話す。

問合せ・相談は悠々会あんしんハウス事業部☎04



今回千支「で部屋んだ賀状をよ。

ヨソ協会のなどが列所事業計画た。初代氏が就任来年も大会の開催への出場者でスターになりました。今回けでなく、京オリピックでもなども視い。教育など両国でいきたい